

慶應義塾大学大学院  
健康マネジメント研究科  
修士課程

2026（令和8）年度入学試験（Ⅱ期）

小論文

注意

1. 受験番号と氏名を解答用紙の所定の欄にそれぞれ記入してください。
2. この冊子の総ページ数は8ページです。また、解答用紙と下書き用紙も挟み込んであります。試験開始直後、総ページ数および落丁などを確認し、不備がある場合はすぐに手を上げて監督者に知らせてください。
3. 解答は、必ず解答用紙の指定の箇所によこがきで記入してください。解答欄外の余白、採点欄および裏面には一切記入してはいけません。
4. 不明瞭な文字・まぎらわしい数字は採点の対象としないので、注意してください。
5. 問題冊子および下書き用紙は終了後必ず持ち帰ってください。

《指示があるまで開かないこと》



## 問題

この小論文試験は本大学大学院健康マネジメント研究科修士課程において必要とされる読解力、論理的思考力、問題解決能力、表現力などを総合的に評価するためのものです。

資料を読んで以下の設問に日本語で答えなさい。

問1 資料1の図1、図2を見て、次の問いに答えなさい。

- ① 2つの図を組み合わせて読み取れることを、図から読み取れる数字を用いて、200字以内で記述しなさい。
- ② ①で読み取ったことに基づく考察を200字以内にまとめて記述しなさい。

問2 資料2を読み、次の問いに答えなさい。

- ① 下線部の「pocket disparity」について100字以内で説明しなさい。
- ② ①を踏まえ、誰にどのような不利益があり、それをどのように解消すべきか、200字以内にまとめて記述しなさい。

問3 資料3の内容を140字以内で要約しなさい。

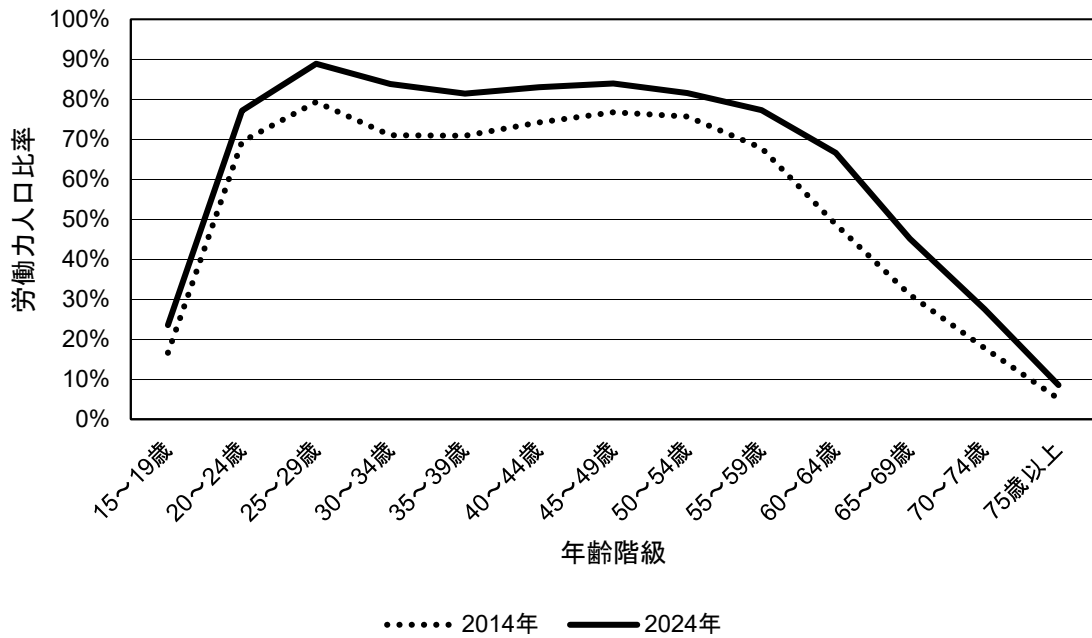
## 資料出典

資料1 「労働力調査」(総務省)

資料2 The Asahi Shimbun. March 22, 2025.

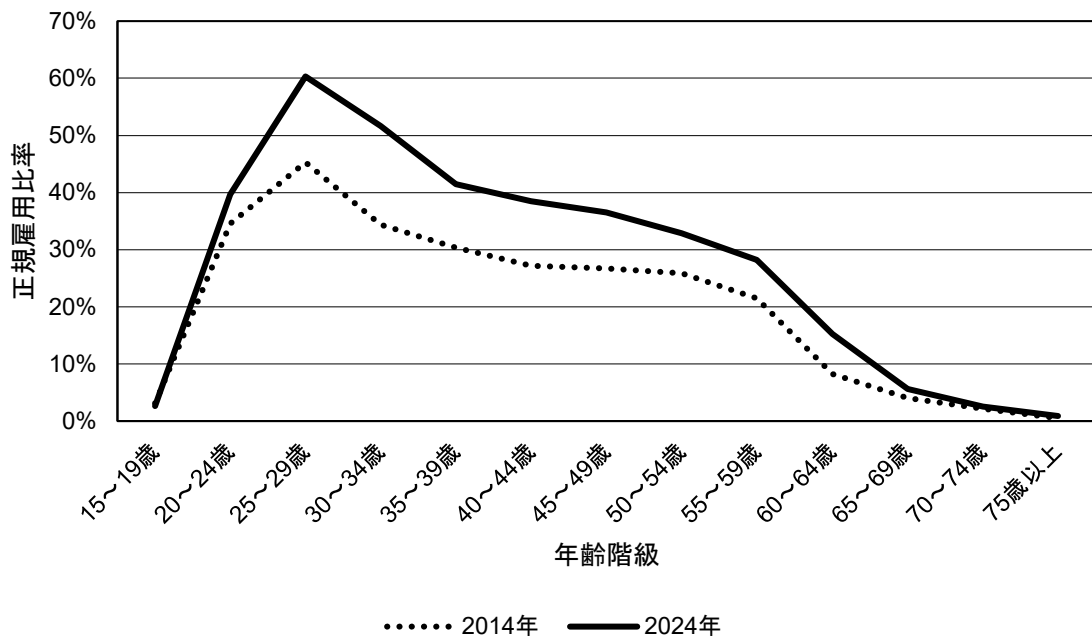
資料3 毎日新聞. 2025年9月24日.

資料 1



注) 労働力人口比率：人口に占める労働力人口（就業者と完全失業者を合わせたもの）の比率

図 1 年齢階級別女性労働力人口比率



注) 正規雇用比率：人口に占める正規の職員・従業員の比率

図 2 年齢階級別女性正規雇用比率

出典：「労働力調査」（総務省）

## 資料 2

When going through airport security screening, I always marvel at how much stuff comes out of the trouser pockets of an average male passenger—a mobile phone, wallet, loose change, a set of keys and so on.

But I am a woman, and I have to keep all my belongings in one bag for the metal detectors. That's because pockets on women's apparel are usually too small to be useful, or they may just be ornamental.

I became conscious of these things in January last year, when an airplane mishap at Tokyo's Haneda Airport resulted in the emergency evacuation of all passengers.

According to reports, one passenger escaped with all valuables intact in the pockets. And that got me wishing dearly for clothes with roomy and functional pockets for when you aren't allowed to take any bags in an emergency.

Hannah Carlson, who teaches dress history and material culture at the Rhode Island School of Design, says in her book "Pockets: An Intimate History of How We Keep Things Close" that her interest in pockets as a research subject was triggered by her personal experience of evacuating from a New York office building where she worked.

She recalls how her male colleagues had their phones and wallets in their suit pockets, but all women, including herself, found themselves in a quandary once they were out of the building.

According to her book, the "pocket disparity" in apparel started in the early 19th century. For men, suit pockets became standard while the apparel manufacture process underwent modernization.

But for women's wear, manufacturers shunned pockets, deeming them "unattractive."

Even after jeans and suits became popular among women, they were without functional pockets to keep the costs down, and their presence or absence remained at the mercy of fashion trends.

I imagine that many women will be starting to wear suits this spring. Although women's clothes with pockets seem to be on the increase, they are still limited, and those with inside pockets are even rarer.

The more options there are, the better.

出典：VOX POPULI: Women need clothing with pockets that are actually useful

The Asahi Shimbun. March 22, 2025.

朝日新聞社に無断で転載することを禁じます。（承諾番号 26-0309）

### 資料3

安全に走行するためのルールが徹底されているとは言い難い。手軽な移動手段だからこそ、意識を高める取り組みが欠かせない。

自動車やバイクを対象とする「青切符」制度が、来年4月から自転車にも適用される。交通違反をした16歳以上の人に反則金を納めさせる。

スマートフォンを使いながらの走行や、信号無視、無灯火など113種類の違反が対象となる。3000～1万2000円の反則金が設定された。

事故を減らすことが導入の狙いだ。交通事故で自転車に関連する割合は近年、増加傾向にあり、昨年は23.2%だった。このうち自転車に違反があったケースが7割に上っていた。

ただ、自転車の交通ルールが十分に知られていない現状がある。

警察庁は「自転車ルールブック」をホームページで公表し、交通規則や取り締まりの考え方を説明した。違反に対しては、基本的に指導・警告を実施し、悪質・危険な場合に青切符を交付する。

例えば、歩道を通行できるのは標識がある場合などに限られ、徐行が原則だ。にもかかわらず、我が物顔で歩道を走り、歩行者を危険にさらす場面も目につく。

単に歩道通行のルールに反した際は指導・警告にとどめ、スピードを出して走り、歩行者を立ち止まらせるなど、事故につながりかねない時に青切符を交付する。

ルールの周知や啓発には、交通安全教育の充実も必須である。

官民連携の協議会で、年代別の教育内容や方法などを示すガイドラインの作成が進められている。学校や企業、地域、自転車販売店などが役割を果たすための体制整備が急務だ。

限られた道路スペースを多様な乗り物が共有する中、自転車が走行しにくい実態もある。

自転車レーンが設置されていても、路上駐車で塞がれているところが少なくない。自動車に追い抜かれる際に接触しそうになる例もあり、車道走行をためらう原因になっている。自動車側の危険行為への厳格な対応も不可欠だ。

交通空間を誰もが安心して使えるよう、自分より弱い立場の利用者に配慮する必要がある。青切符導入を、そのきっかけにしたい。

出典：社説 自転車に「青切符」 ルール周知の徹底が肝要  
毎日新聞 2025年9月24日発行



